

スポーツYAMATO

壮絶な打撃戦がチームの変化点だ

上原劣勢を変えた2ラン



試合は9・12惜敗

宿敵MORとの一戦は4回を終了して0・9の一方的な試合展開となった。しかし、ここから大和打線が息を吹き返す展開に。5回表四球で出塁した長尾を1塁に置き、打順は上原に回った。昨日の風がこの日は追い風となり上原が振りぬいた打球はライトへの2ランホームランとなった。このホームランで一気に劣勢の空気が変わった。6回表は無死満塁から村井のタイムリー、続く宮崎は打撃好調で走者一掃のツーベースで3点を追加。長尾も技ありのシヨート後方に落とすヒットで更に1点を追加するなどこの回一気に7点を取り、9・10まで追い上げた。6回裏にMORに2点を追加されてしまい結局、9・12で惜しくも敗戦となった。しかし、この一戦がこれまで試合の流れを変えられなかったチームに変化をもたらしたのには言うまでもないだろう。この日のMORとの一戦が今シーズンの変化点になり、チームは上昇モードに突入したと宣言しておこう。そして、このきっかけを作ったのは上原が放った2ランホームランであるということは百も承知だ。